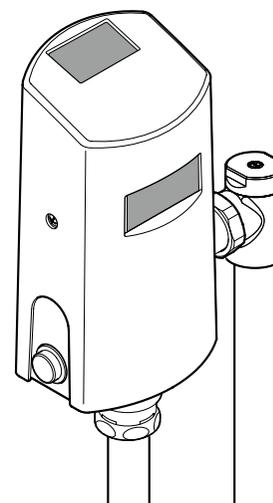


施工説明書

大便器自動洗浄システム

オートフラッシュ C センサー 一体形 シャワートイレ自動洗浄対応

OKC-AT7 型
OKC-AT6 型
OKC-A6 型
OKC-A5 型



このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

- この施工説明書をよくお読みのうえ、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。
- お客さまに必ず本書と取扱説明書（保証書付）をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで ナビダイヤル TEL 0570-017-173

受付時間 平日 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00（ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く）

安全上の注意 (必ずお守りください。)

- 施工前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書は取扱説明書と共にお客さまで保管頂くよう依頼してください。

用語および記号の説明



警告

「この表示の欄の内容を無視して取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」



注意

「この表示の欄の内容を無視して取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害*のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」



禁止

この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。



指示実行

この表示は、必ず実行していただく「強制」の記号です。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。



警告



水場使用禁止

バスルームなど湿気の多い場所には設置しないでください。
※感電・火災の原因になります。



水かけ禁止

水や洗剤（特にサンポールやドメスト）をかけないでください。
※感電・火災や外観劣化の原因になります。



禁止

電源配線をはさんだり、キズ付けたりしないでください。
※故障・感電の原因になります。

交流 100V 以外では使用しないでください。
※火災の原因になります。

電源線の加工（切断・継ぎ足し）は行わないでください。
※感電・火災の原因になります。

シャワートイレ自動洗浄対応には上水道以外は使用しないでください。
※機械の内部腐食により、発火・ショート・感電・故障の原因になります。



警告



分解禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理、改造を行わないでください。
※故障・感電・火災の原因になります。



ぬれ手禁止

濡れた手でコネクタにさわらないでください。
※感電の原因になります。



指示実行

電源線を差込形コネクタに差し込むときは、根元まで確実に差し込んでください。
※感電・火災の原因になります。
※この作業の前に必ず漏電遮断器が切っていることを確認してください。

万一の際の危険防止のため、電源の一次側に次の漏電遮断器を設置してください。
●高感度高速形（定格感度電流 15mA 以下、動作時間 0.1 秒以下）
※故障や漏電のときに感電する恐れがあります。



注意



禁止

強い力や衝撃を与えないでください。
※故障・漏水の原因になります。

凍結の恐れがある場所では使用しないでください。
※凍結破損により故障・事故・漏水の原因になります。

本体の通水路には抵抗となるようなオリフィスなどをつけないでください。
※洗浄性能への悪影響や漏水の原因になります。



指示実行

自動フラッシュバルブ本体は重いため取扱いには十分注意してください。
※落とすと、自動フラッシュバルブ本体や衛生陶器が破損して漏水し、家財などを濡らす物的損害発生のおそれがあります。また、ケガをする恐れがあります。

ピストンおよびダイヤフラムの掃除をする際は、止水栓または元栓を閉めてから行ってください。
※水が噴き出し、家財などを濡らす物的損害発生のおそれがあります。
※この作業の前に必ず漏電遮断器が切っていることを確認してください。

取り付け接続部に腐食・ひび割れ等のないことを十分確かめた上、取り付けてください。
※故障・漏水の原因になります。

新築・改修工事後や、水道断水の復旧後は必ず配管内の空気を抜いてください。
※配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、ケガをしたり漏水によって建物、家具などを濡らす物的損害発生のおそれがあります。

仕様

品名		オートフラッシュC センサー一体形				オートフラッシュC センサー一体形シャワートイレ自動洗浄対応			
品番		OKC-AT7型	OKC-AT6型	OKC-A6型	OKC-A5型	OKC-AT7型	OKC-AT6型	OKC-A6型	OKC-A5型
カバー寸法		130 (幅) × 110 (奥行) × 252 (高さ) mm							
洗浄水量調節範囲	大	5~6L調節可能 (出荷時5L)	6~8L調節可能 (出荷時8L)	10~16L調節可能 (出荷時10L)	5~6L調節可能 (出荷時5L)	6~8L調節可能 (出荷時8L)	10~16L調節可能 (出荷時10L)		
	小	3.8~5L調節可能 (出荷時3.8L)	5~6L調節可能 (出荷時6L)	8L (出荷時8L)	3.8~5L調節可能 (出荷時3.8L)	5~6L調節可能 (出荷時6L)	8L (出荷時8L)		
給水圧力※4	最低必要水圧 (流動時)	0.1MPa※1	0.1MPa※2	0.07MPa	0.1MPa※1	0.1MPa※2	0.07MPa		
	最高水圧 (静水圧)	0.75MPa							
電源		AC100V、50/60Hz (自動フラッシュバルブ側に内蔵)							
定格消費電力		常時：3W以下 バルブ作動時：5W以下							
電磁弁駆動電圧		DC6V							
感知距離	人体	500~800mmで4段階調節可能 (白紙200mm角の場合) (出荷時800mm)				なし			
	手かざし	100mm固定 (グレー紙80mm角の場合)							
人体感知確定時間		6秒以上				シャワートイレに着座後 6秒以上			
手かざし感知時間		1秒、2秒に設定可能 (出荷時1秒)							
大小洗浄判定時間		50秒/120秒/150秒 (出荷時50秒)				シャワートイレ側で設定 50秒/120秒/150秒 (出荷時50秒)			
自動洗浄開始時間		人体感知が切れてから (1秒/10秒/180秒、自動洗浄なし) (出荷時10秒)				なし			
フルオート便器洗浄開始時間		なし				シャワートイレ側で設定 (6秒/10秒/15秒/フルオート洗浄なし) (出荷時6秒)			
各種機能	初期洗浄	入/切 切替可能 (出荷時 切)							
	大小洗浄	大小/大 切替可能 (出荷時 大小)				シャワートイレ側にて大小/大 切替可能 (出荷時 大)			
	掃除洗浄	掃除用磁石スイッチで任意に機能停止復帰が可能 また機能停止4分後に、自動復帰							
二重洗浄防止		1度洗浄を行うと、10秒経過しないと、次の洗浄を行わない							
設備保護洗浄		8時間毎/24時間毎/設備保護洗浄なし (出荷時24時間毎)							
給水口径		25A (ねじサイズR1)							
止水栓ストレーナー		あり	なし	なし	あり	なし	なし		
使用温度範囲		0℃~40℃ (ただし凍結の恐れのある場所では使えません)							
使用水		上水 (ただし品番に「-C」がある場合は中水 ※3)				上水			

※1：0.07MPa～0.1MPa時は5.5Lまたは6Lにて使用

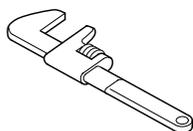
※2：0.07MPa～0.1MPa時は8Lにて使用

※3：中水は使用できる水質範囲があります。詳しくは下記アドレスのホームページをご参照ください。

ホームページアドレス：https://iinavi.inax.lixil.co.jp/products/faucets/flush_cs/

※4：他のフラッシュバルブを使用の際に止水時と通水時の水圧差が大きい場合、止水状態にあるフラッシュバルブへ水圧変動を及ぼすことで、止水状態にあるフラッシュバルブから、一時的に水が流れることがあります。故障ではありませんが、配管設計の際に水圧差が大きくなるようご配慮ください。

準備工具



モーターレンチ



精密ドライバー (-)



プラスドライバー



マイナスドライバー

取り付け前に

商品をダンボール箱から取り出す際、フラッシュバルブ本体を持ってください。

1. 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

本体部	給水・洗浄管部	
<p>ねじ (2本) ワン座 袋ナット パッキン (青)</p>	<p>ツバ付洗浄管 差込み式洗浄管</p>	<p>代表品番 OKC-AT711 * S/SCW OKC-AT611 * S/SCW OKC-A611 * S/SCW OKC-A511 * S/SCW</p> <p>OKC-AT7 * S/SCW OKC-AT6 * S/SCW OKC-A6 * S/SCW OKC-A5 * S/SCW</p>
<p>シャワートイレ自動洗浄対応の場合</p> <p>ねじ (2本) ソケット パッキン (青)</p>	<p>給水管</p>	<p>パッキン (黒) パッキン (灰) スリップワッシャー (白)</p>
<h3>その他</h3> <p>施工説明書 取扱説明書 操作説明シール</p>		

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。
※本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

2. 取付条件の確認

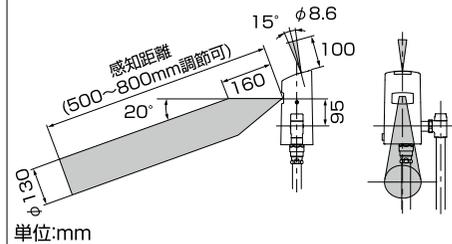
●本商品オートフラッシュ C は、下図 A～F の場合は取り付けできませんので、事前にご確認ください。

センサー一体形、シャワートイレ 自動洗浄対応 共通の取付条件

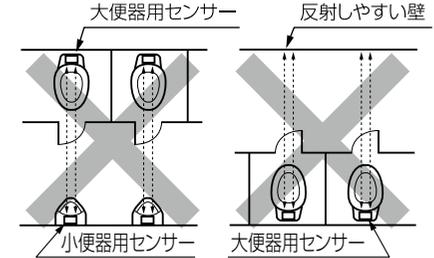
<p>A. 感知領域内に障害物がある場合</p> <p>単位:mm</p>	<p>B. オートフラッシュ C 本体付近に手すりなどがある場合 (■は必要空間寸法)</p> <p>単位:mm</p>
--	---

センサー一体形の取付条件

C. 感知領域内に障害物がある場合



D. センサー正面の壁がステンレスなど反射しやすい場合や、センサー同士が対向する場合



E. ひじ掛け付もたれ、便座昇降装置、親子便座が取り付けられている場合
人体センサー取付位置の関係上、誤感知しますので、使用できません。

F. 便フタ付きの便座

- 自動フラッシュバルブは衛生陶器の種類に応じた製品を選定してください。
- 現場手配の電線管、電線管コネクタ、スイッチボックス、電源線、プレート、ゴムブッシュは必ず以下のものをご使用ください。

電線管	合成樹脂製可とう電線管 (JIS C8411 呼び16)
電線管コネクタ	合成樹脂製可とう電線管用付属品 (JIS C8412 呼び16)
スイッチボックス	JIS C 8340 1個用スイッチボックスカバー付
電源線	600Vビニール絶縁電線またはケーブル (φ1.6~φ2) (単線)
プレート	パナソニック電工 (株) 製フルカラーステンレス埋込コンブ (WN 9613) 相当
ゴムブッシュ	タキゲン製造 (株) 製 難燃性膜付グロメット (SG 34A) 相当

- 水道工事と電気工事は、工程を十分打ち合わせの上で、行ってください。
- AC アダプターは必ず専用のものを使ってください。
- 電源は AC100V (50/60Hz)、最大定格 5W に適した電気配線をしてください。
- 電気工事は必ず有資格者が行ってください。
- 給水管内のゴミを洗い流してください。自動フラッシュバルブ本体を取り付ける前に、配管内のゴミ・砂・水垢・配管用接着剤などの異物を完全に洗い流してください。
- 上水仕様は上水道以外に接続しないでください。
※機械内部の腐食により、発火・ショート・感電・故障および皮膚の炎症の原因になります。
※上水以外で使用する場合は、中水仕様をお使いください。詳しくは「仕様」をご参照ください。

3. センサーについて

- 男性が立って小用を足す大便器では、センサーの取付位置の関係により、小用の際に使用者を感知することができません。
- センサー窓に傷や汚れを付けたり、目隠しをしたりしないでください。誤感知や感知しないことがあります。
- 施工の際にセンサー表面を傷つけないよう十分ご注意ください。

取り付け前に (つづき)

- インバータ照明や赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。
- 蛍光灯や太陽光などがセンサーに直接入らないように施工してください。
- 【センサー一体形のみ】
- 便座を上げた場合、使用者を感知することができません。使用后、または清掃後は便座を下げてください。
- 和風便器の場合、紙巻き器は側面の壁に取り付けることをおすすめします。正面の壁に取り付けると、トイレトーパーを巻き取る時に手かざしセンサーが誤感知する恐れがあります。
- 【シャワートイレ 自動洗浄対応のみ】
- 天井が以下の様な仕様の場合、フルオート便器洗浄が使用できない恐れがあります。事前にご確認ください。
- ・天井の高さが 3m を越える場合
- ・吹き抜けや、ガラスなど光を通過する材質の場合
- ・黒のように濃い色の場合
- ・傾斜が付いていたり、平らでない場合

4. その他

●給排水芯間距離

壁給水は 120mm、床給水は 156mm です。

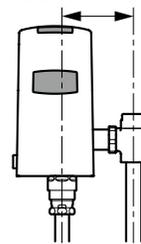
上記以外の芯間距離の場合は、現場に合った芯間変更ユニオンをご購入の上、施工前にお取り換えください。

●梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

※ 1. オートフラッシュ C 後付けタイプ (電池式) 専用芯間変更ユニオンは、オートフラッシュ C (100V 式) には取り付けできませんので、ご注意ください。

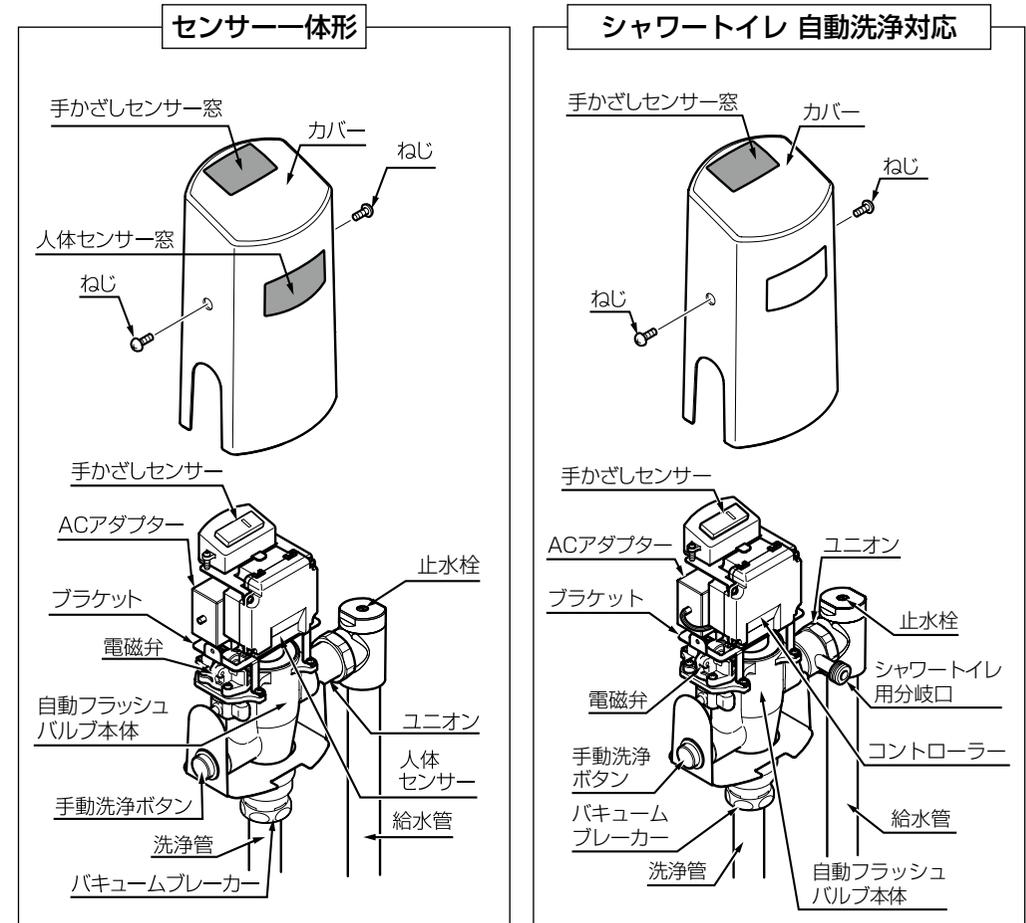
※ 2. 芯間寸法 100mm でシャワートイレを分岐する場合、A-8664 (100) と止水栓分岐アダプター (K-016A または K-016A-1) を手配することで対応可能です。

給排水芯間距離



製品品番	OKC-AT7 型		OKC-AT6 型		OKC-A6 型、OKC-A5 型		
定流量弁	あり		あり		なし		
シャワートイレ分岐	なし	あり	なし	あり	なし	あり	
水質	上水・中水兼用	上水のみ	上水・中水兼用	上水のみ	上水・中水兼用	上水のみ	
芯間距離 (mm)	120	A-9590	K-T001	A-8665	A-8735	A-8664	A-8736
	156	A-9590A	K-T001A	A-8665A	A-8735A	A-8664A	A-8736A
	100	—	—	—	—	A-8664(100)	— ※ 2
	130	A-9590(130)	K-T001(130)	A-8665(130)	A-8735(130)	A-8664(130)	A-8736(130)
	140	A-9590(140)	K-T001(140)	A-8665(140)	A-8735(140)	A-8664(140)	A-8736(140)
	150	A-9590(150)	K-T001(150)	A-8665(150)	A-8735(150)	A-8664(150)	A-8736(150)
	160	A-9590(160)	K-T001(160)	A-8665(160)	A-8735(160)	A-8664(160)	A-8736(160)
	170	A-9590(170)	K-T001(170)	A-8665(170)	A-8735(170)	A-8664(170)	A-8736(170)
	180	A-9590(180)	K-T001(180)	A-8665(180)	A-8735(180)	A-8664(180)	A-8736(180)
	200	A-9590(200)	K-T001(200)	A-8665(200)	A-8735(200)	A-8664(200)	A-8736(200)

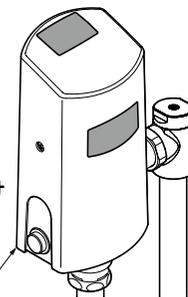
各部のなまえ



施工方法

- 1 スイッチボックスの取り付け
- 6 電源線の接続
- 8 電源の投入

- 4 自動フラッシュバルブ本体の取り付け
- 7 各種設定
- 10 カバーの取り付け

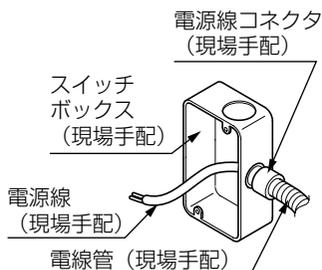


- 2 給水管・洗浄管の取り付け
- 3 バキュームブレーカーの取り付け
- 9 水勢の調節・各部の点検

- 5 シャワートイレとの接続

1 スイッチボックスの取り付け

- 1 電線管コネクタ（現場手配、1個）で電線管（現場手配、1個）とスイッチボックス（現場手配、1個）を接続します。
※現場手配部品については「取り付け前に」を参照ください。
- 2 電源線（現場手配）を電線管に通し、図のようにスイッチボックス内にそれぞれ引き込みます。



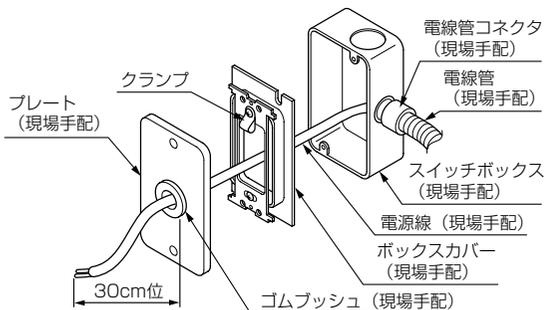
警告

万一の際の危険防止のため、電源の一次側に漏電遮断器（感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下）を設置し、切っておいてください。

注意

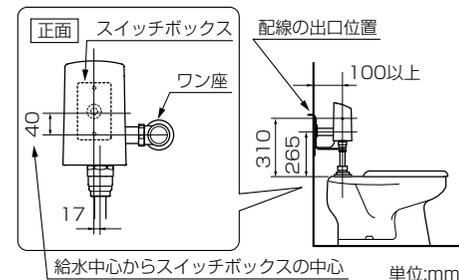
電源線はプレートからあらかじめ30cm位引き出しておいてください。

- 3 電源線をゴムブッシュ（現場手配）に通し、プレートを取り付けます。
※ゴムブッシュは電源線が通るように中央を十文字にカットしてください。

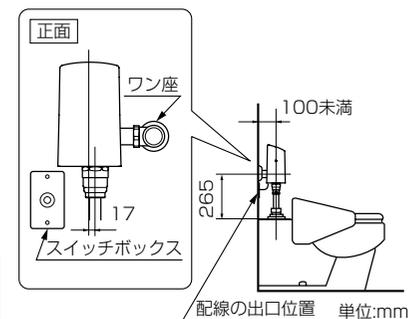


スイッチボックスの取り付け位置

- 壁から自動フラッシュバルブ本体の中心までの距離が100mm以上（標準セット位置が100mm以上）の場合は自動フラッシュバルブ本体の背面に取り付けてください。



- 壁から自動フラッシュバルブ本体の中心までの距離が100mm未満（標準セット位置が60・75mmタイプ）の場合は壁と自動フラッシュバルブ本体とのすき間が狭く、配線の引き回しやスイッチボックスに配線を収納しにくいいため、自動フラッシュバルブ本体の近傍に取り付けてください。



注意

スイッチボックスは配線の露出長さを短くするため、できるだけ自動フラッシュバルブの近くに設けてください。スイッチボックスの取付位置は給水管、ワン座などに支障がない場所を選び、また意匠などはあらかじめ現場と調整の上、決めてください。

2 給水管・洗浄管の取り付け

① 給水管・洗浄管を所定の位置に接続します。

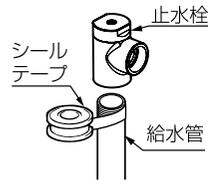
注意

付属の給水管はステンレス管のため、異種金属接触による腐食を防止するため、接続部が給水管と材質が異なる場合は、必ず絶縁継手をご使用ください。

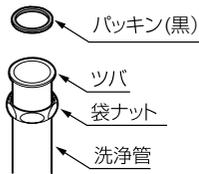
② 給水管に止水栓を取り付けます。

③ 止水栓をマイナスドライバーで閉めます。

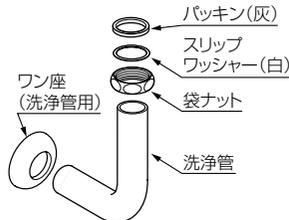
④ 洗浄管にバキュームブレーカーの袋ナット、スリップワッシャー、パッキンを挿入します。



ツバ付の洗浄管

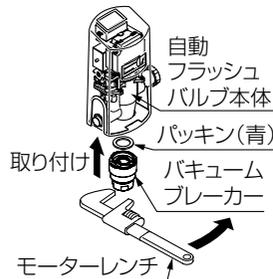


差込み式の洗浄管



3 バキュームブレーカーの取り付け

自動フラッシュバルブ本体にパッキンとバキュームブレーカーを取り付けます。
※自動フラッシュバルブ本体を落とさないように注意してください。落とすと破損します。



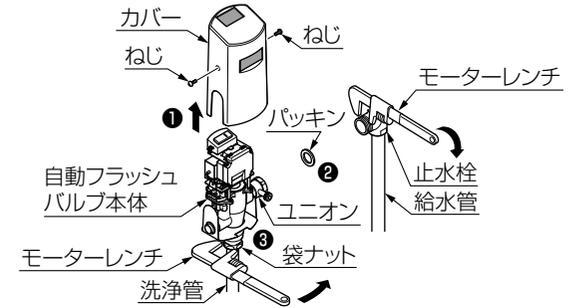
4 自動フラッシュバルブ本体の取り付け

① カバー横のねじを外し、カバーを取り外します。
※外したねじをなくさないように注意してください。

右給水の場合

② 止水栓と自動フラッシュバルブ本体を固定します。
※ユニオンにパッキンが付いているか、確認してください。

③ 洗浄管と自動フラッシュバルブ本体を固定します。



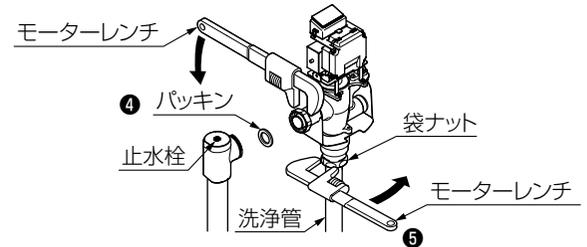
左給水の場合

② ブラケットの止めねじ 4 本をゆるめ、ブラケットをスライドして外します。

③ 自動フラッシュバルブ本体の向きを変えて、ブラケットをスライドし、仮固定してください。
※水量調節スピンドル等の設定が不要な場合は、固定してください。

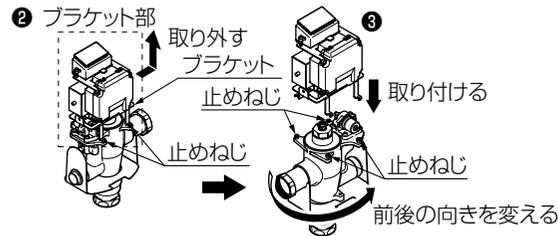
④ 止水栓と自動フラッシュバルブ本体を固定します。
※ユニオンにパッキンが付いているか、確認してください。

⑤ 洗浄管と自動フラッシュバルブ本体を固定します。

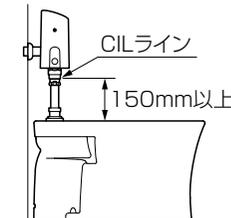


注意

- 配線類のかみ込みやねじれがないように注意してください。
- ブラケット部の取り付けは、ずれがないように奥まで差し込んで止めねじ 4 本をしめつけてください。



※自動フラッシュバルブ本体の取り付け位置
自動フラッシュバルブは、バキュームブレーカー側面の「CIL」ラインから、便器のあふれ面まで 150mm 以上を確保してください。



注意

自動フラッシュバルブ本体を止水栓、洗浄管に固定する際は、モーターレンチなどで電源コードを引っかかないように十分注意してください。

5 シャワートイレとの接続 (シャワートイレ 自動洗浄対応のみ)

事前にシャワートイレの設置を終了してから、シャワートイレとの接続を行ってください。

注意

シャワートイレとの接続を行う際は、止水栓を閉めてから行ってください。
※水が噴き出し、家財などを濡らす物的損害が発生する恐れがあります。

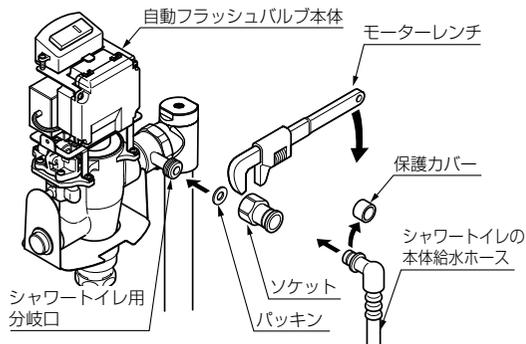
注意

【クリップ式で接続する場合】

- クリップの先端がカチッと音がするまではめ込んでください。
※きちんとはまっていないと漏水します。
- Oリングをキズつけないように注意してください。
※ Oリングが切れたり、キズついたりすると漏水します。

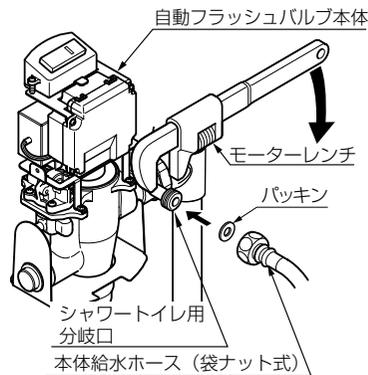
【クリップ式で接続する場合】

- ① シャワートイレ用分岐口にソケットを取り付けます。
※ソケットにパッキンが付いているか確認してください。
- ② シャワートイレの本体給水ホース先端に付いている保護カバーを外し、本体給水ホースをソケットに差し込みます。

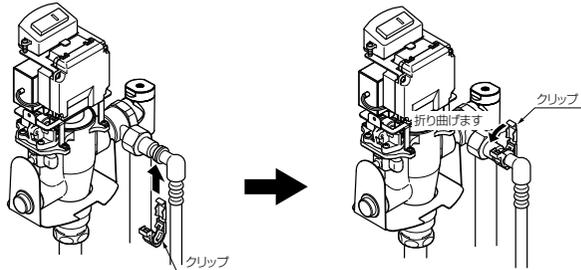


【袋ナット式で接続する場合】

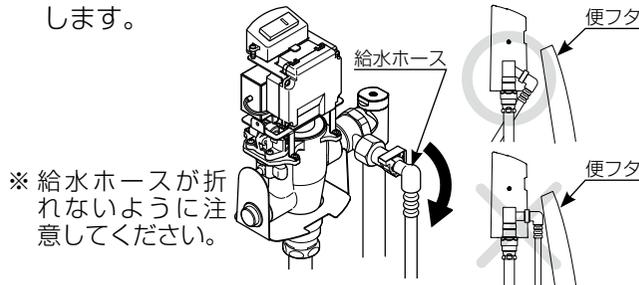
- ① シャワートイレの本体給水ホースをシャワートイレ用分岐口に取り付けます。
※シャワートイレの本体給水ホースにパッキンが付いているか確認してください。



- ③ クリップを取り付けた後に折り曲げ、クリップを一周させて正常にはまっていることを確認してください。



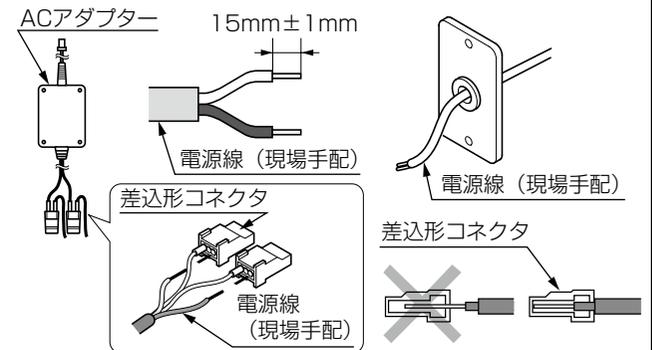
- ④ 本体給水ホースを便フタが当たらないように動かします。



※ 給水ホースが折れないように注意してください。

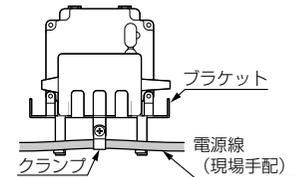
6 電源線の接続

- ① 電源線 (現場手配) の被覆を 15mm ± 1mm むき、差込形コネクタの外側端子穴に芯線を奥まで確実に差し込みます。
※必ず付属の差込形コネクタを使用してください。

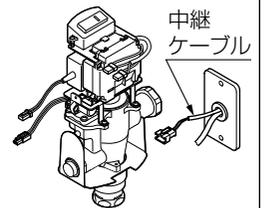


被膜が差込形コネクタに入るまで、奥まで確実に差し込んでください。芯線が露出していると、感電する恐れがあります。

- ② 電源線をブラケットのクランプに固定します。



- ③ コネクタを接続します。
ACアダプター：青色コネクタ
電磁弁：赤色コネクタ
中継ケーブル：黒色コネクタ
※中継ケーブルは、操作部と組み合わせる時のみ使用します。



注意

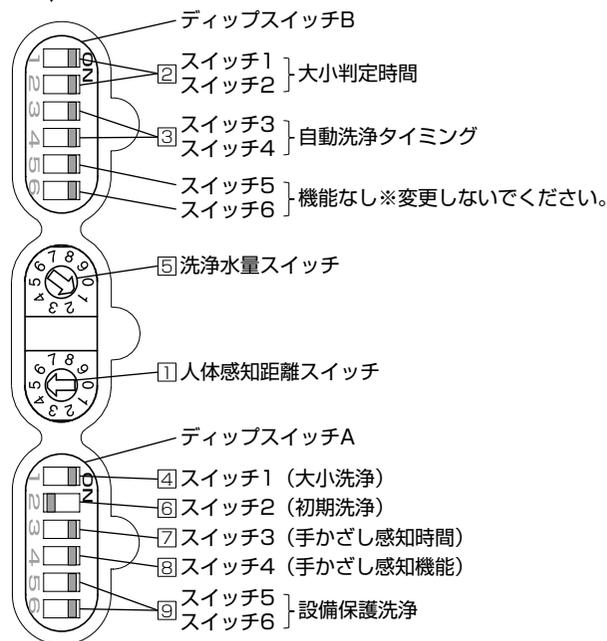
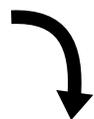
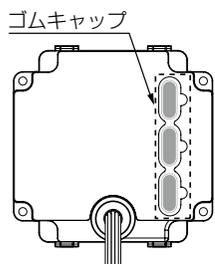
中継ケーブルの延長は行わないでください。故障の原因になります。5m 以上の中継ケーブルが必要な場合は、中継ケーブル (10m) を別途手配してください。

7 各種設定

◆切替スイッチの設定

人体センサー裏側の切替スイッチで以下の設定が可能です。人体センサー裏側のゴムキャップを取り外して、設定してください。(下図は人体センサー裏側です。) 各スイッチの切替えは、精密ドライバー(－)を使用してください。

センサー一体形



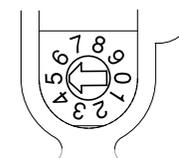
センサー一体形の設定

1 人体感知距離の設定

人体センサーの感知距離は出荷時「800mm」に設定しています。スイッチを表のように切り替えることで、「500mm」、「600mm」、「700mm」に設定することもできます。

※ 表のスイッチ番号以外は設定しないでください。故障の原因になります。

感知距離目安	スイッチ番号
500mm	2
600mm	3
700mm	4
800mm	5



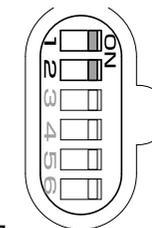
※出荷時は「800mm」(スイッチ番号5)に設定

2 大小判定時間(ディップスイッチB)の設定

大小判定時間は出荷時「50秒」に設定しています。スイッチを表のように切り替えることで、「120秒」、「150秒」に設定することができます。

※ 表のスイッチ以外は設定しないでください。故障の原因になります。

	スイッチ番号
□□	1
□□□	2
□□□	3



※出荷時は「50秒」に設定

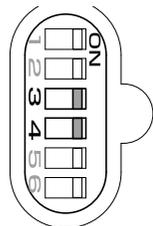
7 各種設定 (つづき)

センサー一体形の設定 (つづき)

3 自動洗浄タイミング (ディップスイッチB) の設定

自動洗浄するタイミングは出荷時「10秒」に設定しています。スイッチを表のように切り替えることで、「1秒」、「180秒」、「自動洗浄なし」に設定することもできます。

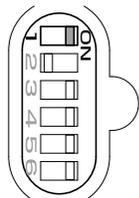
自動洗浄 タイミング	スイッチ番号
10秒	3 4
180秒	3 4
自動洗浄なし	3 4 5 6
1秒	3 4



※出荷時は「10秒」に設定

4 大小洗浄 (ディップスイッチA) の設定

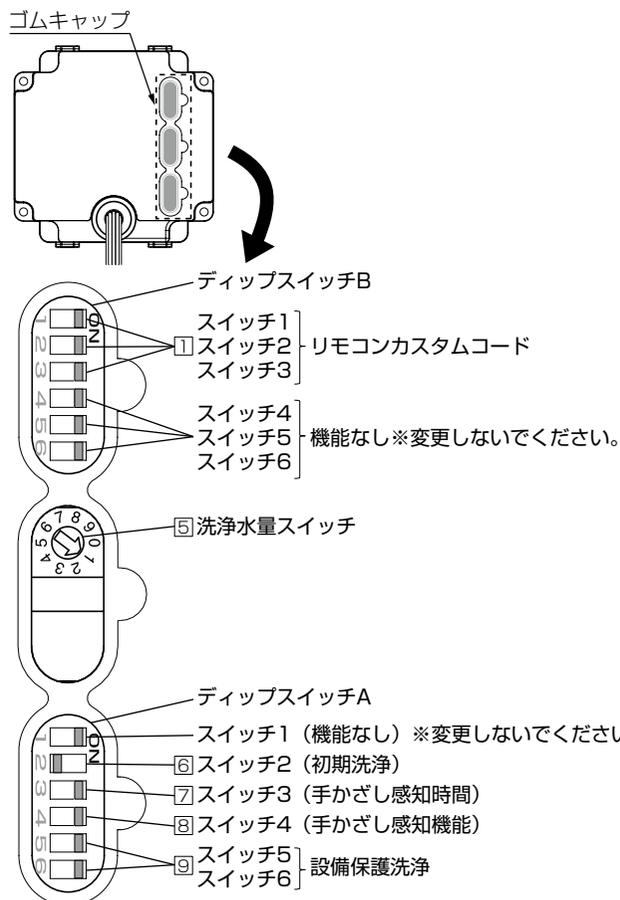
大小洗浄は出荷時「大小」(ON)に設定しています。



※ ディップスイッチ B の 5、6 は「ON」で使用してください。「OFF」にすると故障の原因になります。

➡ **共通設定** につづく

シャワートイレ自動洗浄対応



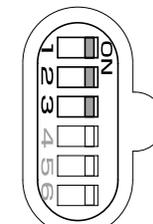
シャワートイレ自動洗浄対応の設定

1 洗浄信号 (リモコンカスタムコード) (ディップスイッチ B) の設定

洗浄信号 (リモコンカスタムコード) は、シャワートイレ側の洗浄信号と同じ番号に設定してください。

併設して設置する場合は、併設される製品とは別の洗浄信号 (リモコンカスタムコード) に設定してください。誤作動の原因になります。

リモコン カスタム コード	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
0 (出荷時)	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
1	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON
2	ON						
3	ON						
4	ON						
5	ON						
6	ON						
7	ON						



※出荷時は「0」に設定

2 シャワートイレ側での設定

下記項目に関しては、シャワートイレ側で設定します。シャワートイレの取扱説明書をご参照ください。

- 大洗浄・小洗浄判定時間の変更
- フルオート便器洗浄の入/切
- 洗浄信号(カスタムコード)の設定
- フルオート便器洗浄開始時間の変更
- 大洗浄・小洗浄の切替

※ディップスイッチAの1、ディップスイッチBの4、5、6は「ON」で使用してください。「OFF」にすると故障の原因になります。

➡ **共通設定** につづく

7 各種設定 (つづき)

共通設定

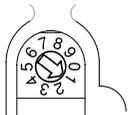
5 洗浄水量設定

洗浄水量の出荷時設定は製品品番によって異なり、表のように設定しています。取り付ける衛生陶器に応じて洗浄水量を設定することにより、高い節水効果が得られます。

※表のスイッチ番号以外は設定しないでください。故障の原因になります。

OKC-AT7型の場合

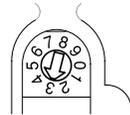
洗浄水量		スイッチ番号	
大	小	標準	低圧用
5L	3.8L	1	—
5.5L	4.8L	2	5
6L	5L	3	6



※出荷時は「5L」
(スイッチ番号1) に設定

OKC-AT6、OKC-A6型の場合

洗浄水量		スイッチ番号
大	小	
8L	6L	3
6L	5L	9



※出荷時は「8L」
(スイッチ番号3) に設定

OKC-A5型の場合

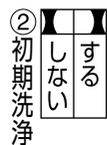
洗浄水量		スイッチ番号
大	小	
13L	13L	1
10L	8L	2
8L	6L	3
13L	8L	4
16L	16L	5



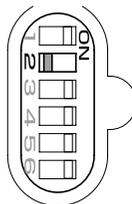
※出荷時は「10L」 (スイッチ番号2) に設定

6 初期洗浄 (ディップスイッチA) の設定

初期洗浄機能は出荷時「しない」(OFF) に設定していますが、スイッチを切り替えることで、「する」(ON) に設定することができます。



※出荷時は「しない」
(OFF) に設定

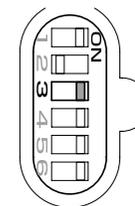


7 手かざし感知時間 (ディップスイッチA) の設定

手かざしセンサーの感知時間は、出荷時「1秒」(ON) に設定しています。スイッチを切り替えることで、「2秒」(OFF) に設定することができます。



※出荷時は「1秒」
(ON) に設定

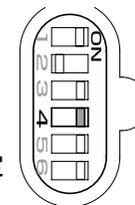


8 手かざし感知機能 (ディップスイッチA) の設定

手かざし感知機能は、出荷時「入」(ON) に設定しています。スイッチを切り替えることで、「切」(OFF) に設定することができます。



※出荷時は「入」(ON) に設定



9 設備保護洗浄 (ディップスイッチA) の設定

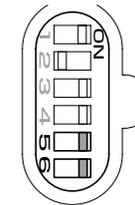
設備保護洗浄機能は、出荷時「24時間毎」に設定していますが、スイッチを切り替えることで、「しない」、「8時間毎」に設定することができます。

※「しない」に設定した場合、長時間大便器を使用しないと、封水切れを起こす恐れがあります。

※表のスイッチ以外は設定しないでください。故障の原因になります。



※出荷時は
「24時間毎」に設定



※設定後、ゴムキャップを付けてください。

7 各種設定 (つづき)

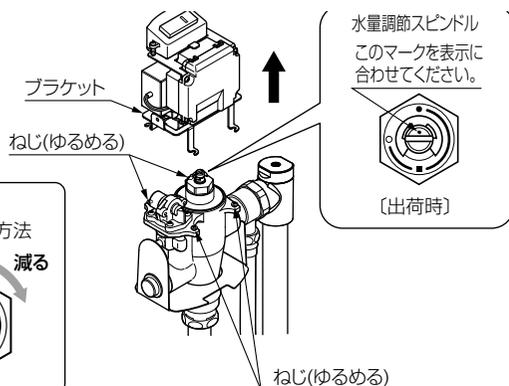
◆水量調節スピンドルの設定

- 赤色コネクタを外します。
- ブラケットのねじ (4カ所) をゆるめ、ブラケットを外します。
- 水量調節スピンドルの丸印を表示ラベルの表示に、マイナスドライバーで合わせます。水量ラベルの表示は、衛生陶器によって異なります。

工場出荷状態への戻し方

水量調節スピンドルを反時計回りいっぱいに戻した後、製品品番に応じた位置に時計回りに戻してください。

OKC-AT7型	2周目の白丸
OKC-AT6型	1周目の白丸
OKC-A6型	1周目の白丸
OKC-A5型	1周目の黒丸



【参考】回転方向について

水量調節スピンドルを左(反時計方向)に止まるまで回すと約2L増えます。

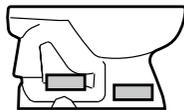


◆洗浄水量の設定

取り付ける衛生陶器に応じて洗浄水量を設定することにより、高い節水効果が得られます。以下に従い、必ず「**1** 洗浄水量スイッチ」と「**2** 水量調節スピンドル」と「**3** 水勢調節スピンドル」にて設定してください。

衛生陶器品番の確認方法

■ 陶器品番確認位置



洋風便器

■衛生陶器のタイプと設定方法

型種類	衛生陶器品番	水勢調節	洗浄水量		人体センサースイッチ (センサー—体形のみ) ディップスイッチAスイッチ1 (大小洗浄) の設定	1 洗浄水量スイッチの設定	2 自動フラッシュバルブの水量調節スピンドル設定
			大	小			
OKC-AT7型 ※1	C-P25S・C-P25H	不要 ※4	5L	3.8L		1 (大5L/小3.8L)	変更なし
	C-P13S・C-P15SK・C-P15HK・C-P16P・C-P17P		6L	5L		9 (大6L/小5L)	変更なし
	S-207		8L	6L		3 (大8L/小6L)	変更なし
OKC-A6型 ※3	C-P141S・C-P143S	必要	6L	5L		9 (大6L/小5L)	変更なし
	C-P13P		8L	6L		3 (大8L/小6L)	変更なし
OKC-A5型	C-5RT・C-5RTSM	必要	8L	6L		3 (大8L/小6L)	○マークの位置に合わせる
	C-4R・C-4RSM・C-5KRSM・C-715BM		10L	8L		2 (大10L/小8L)	変更なし
	S-206R		10L	—		4 (大13L/小8L)	変更なし
	C-35・C-35K		13L	8L		1 (大13L/小13L)	変更なし
	その他 ※5		13L	13L		—	—

※1：流動時水圧が0.1MPa以上の場合の洗浄水量です。

流動時水圧が0.07～0.10MPaの場合は、5.5L (洗浄水量スイッチを5) に変更してください。

※2：流動時水圧が0.1MPa以上の場合の洗浄水量です。

流動時水圧が0.07～0.10MPaの場合は、8L (洗浄水量スイッチを3) に変更し、水量調節スピンドルを■にあわせてください。

※3：流動時水圧が0.1MPa以上の場合の洗浄水量です。

流動時水圧が0.07～0.10MPaの場合は、洗浄水量スイッチは3のままにしてください。

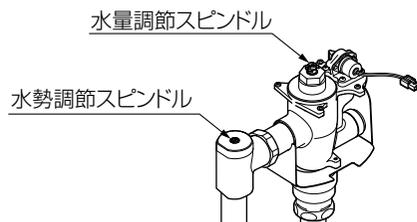
※4：衛生陶器に水勢調整シールがある場合は、水勢調整シールのラインを超える場合は水勢の調節が必要です。

※5：S-203Uは流動時水圧を0.1MPa以上確保できるように配管設計してください。

7 各種設定 (つづき)

③ 水勢調節スピンドルの設定

- 出荷時、流動時水圧が0.1MPaで約5L、約8Lまたは約10Lになるように設定しております。ただし、お使いの水圧条件によっては水勢と水量が変動するため、水勢の調節をしてください。

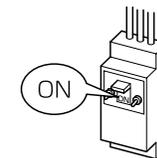


注意

洗浄水量設定は目安です。確実に洗浄できるか必ず確認し、適正な洗浄水量に設定してください。
※ 衛生陶器の詰まりの原因となります。

8 電源の投入

- 製品の接続・設定が完了したら、電源を入れます。
※ 初期洗浄機能が「入」になっている場合は、大洗浄が1回行われます。



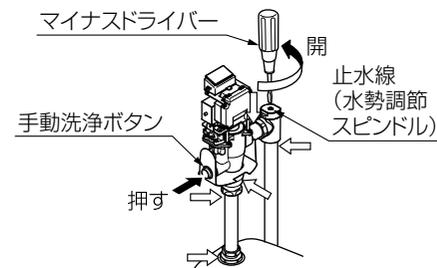
9 水勢の調節・各部の点検

- 1 止水栓が閉まっていることを確認し、元栓を開けてください。

注意

電源が入っていないと洗浄水が止まらない可能性があります。必ず、電源が入っていることを確認してください。

- 2 手動洗浄ボタンを押しながら止水栓を開け、水勢を調節します。(OKC-AT7型、AT6型の場合は、止水栓を全開。)
- 水勢の調節
使用場所の水圧・配管条件により水勢が変化しますので、水勢調節スピンドルを回転させて適正な調節をしてください。
右に回転 水勢が弱くなる。
左に回転 水勢が強くなる。
- 3 この時、水はねがなく、洗浄水が鉢全体に回り、接続部(下図の矢印⇔参照)や自動フラッシュバルブ本体に漏水などの異常がないことを止水時と洗浄時にご確認ください。



- 4 鉢内洗浄の良否は長さ760mmのトイレトーパーを丸めたもの7個が1回の操作で排出できるかどうかで確認してください。

9 水勢の調節・各部の点検 (つづき)

5 次の項目を確認してください。

1 配線の確認

コネクタおよび中継ケーブル・電源線が接続されているか、カバーを取って確認してください。

- コネクタは確実に接続していますか？
- 中継ケーブル・電源線は確実に接続していますか？

「6 電源線の接続」参照

2 ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

- 自動フラッシュバルブ本体、止水栓はしっかり取り付けられていますか？

「4 自動フラッシュバルブ本体の取り付け」参照

3 漏水の確認

漏水がないか確認してください。

- 接続部はしっかり締め付けていますか？

「4 自動フラッシュバルブ本体の取り付け」参照

4 洗浄水量の確認

洗浄水量が少ないときや、設定通りの洗浄水量が出ない場合は、次の項目を確認してください。

- 洗浄水量は正しく設定されていますか？

「7 各種設定」参照

- 止水栓は開いていますか？

「9 水勢の調節・各部の点検」参照

5 器具内の清掃

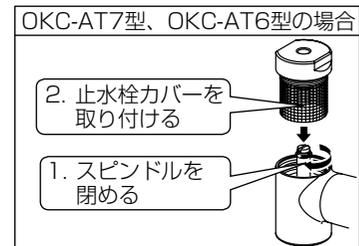
配管内のゴミが器具につまっていないか確認してください。

- (OKC-AT7型、OKC-AT6型の場合) 止水栓ストレーナーにゴミつまりはないですか？
→止水栓ストレーナーを掃除します。掃除方法は取扱説明書「お手入れ方法」を参照してください。

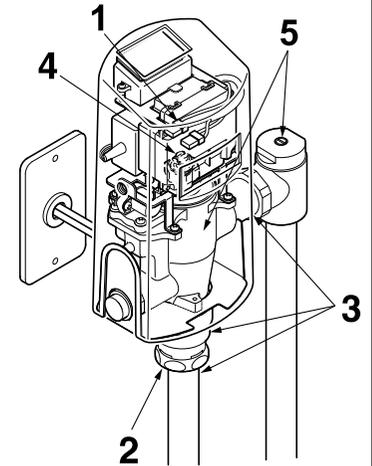
⚠ 注意

- OKC-A5型、OKC-A6型(OKC-AT7型、OKC-AT6型以外の機種)にはストレーナーはなく、止水栓カバーを取り外すと漏水するため止水栓カバーを外さないでください。
- OKC-AT7型、OKC-AT6型でストレーナー付止水栓カバーを取り外す際は、必ず製品の止水栓を先に閉めてください。

※止水栓を閉めずに止水栓カバーを取り外した場合 スピンドルが自立しないため止水栓カバーの取り付けが困難となります。
→スピンドルを閉めてから止水栓カバーを取り付けてください。



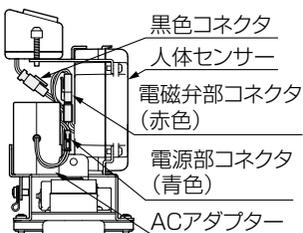
- ピストンおよび自動フラッシュバルブ本体シート部のゴミ付着はないですか？
→ピストンおよび自動フラッシュバルブ本体シート部の掃除をします。掃除方法は取扱説明書「お手入れ方法」を参照してください。
- ダイヤフラムにゴミつまりはないですか？
→ダイヤフラムを掃除します。掃除方法は取扱説明書「お手入れ方法」を参照してください。



施工方法 (つづき)

10 カバーの取り付け

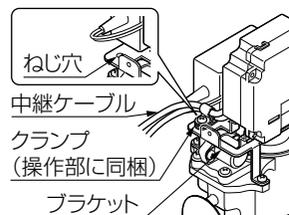
- ❶ 配線のかみ込みを防止するために、コネクタをACアダプターと人体センサーの間に収めてください。



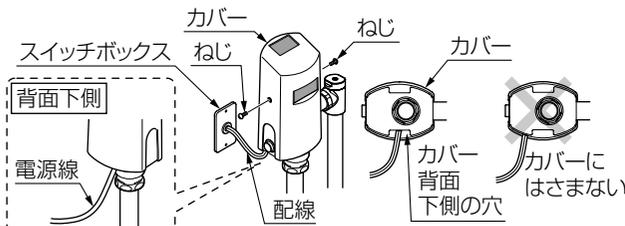
警告

取り付けをあやまると、感電の恐れがあります。

- ❷ 中継ケーブルをブラケットに固定します。ブラケットの後方にあるねじ穴に、クランプ (操作部に同梱) で固定してください。



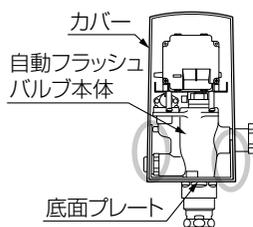
- ❸ 配線をかみ込まないように、十分注意しながらカバーをかぶせ、カバーの背面下側の穴から電源線を通し、ねじで固定します。余分な配線をスイッチボックス内に収納します。



警告

スイッチボックスを横壁など本体から離れた場所に取り付ける場合は、市販のモールなどで配線を覆い、配線を保護してください。

- 底面プレート両側がカバーの内側にあることを確認してください。

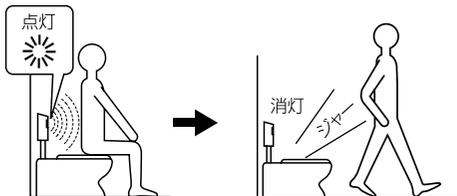


取り付け完了後の確認

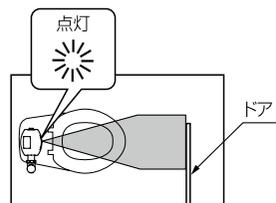
1. 自動洗浄、フルオート便器洗浄の確認

〈センサー一体形の場合〉

センサーが使用者を感知すると感知表示ランプ (赤) が点灯します。
6秒以上点灯させた後立ち去ると、感知表示ランプ (赤) が消灯し、10秒後洗浄水が流れることをご確認ください。洗浄開始から10秒間、洗浄表示ランプ (緑) が点灯します。

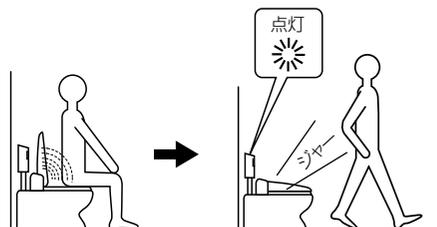


感知表示ランプ (赤) が消灯しない場合は、トイレブースの壁や衛生陶器などを感知していますので、感知距離の再設定が必要となります。設定方法は「切替スイッチの設定」の「人体感知距離の設定」をご参照ください。ドアを開けたままでセンサーの感知表示ランプ (赤) が点灯する場合には、ムダな洗浄を防ぐために自動洗浄タイミングを「自動洗浄なし」に設定してください。設定方法は「切替スイッチの設定」の「自動洗浄タイミングの設定」をご参照ください。

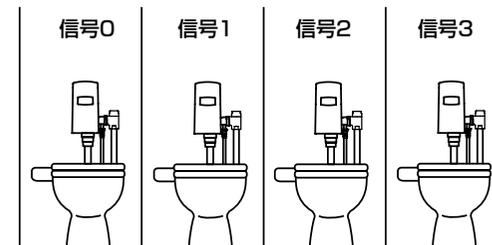


〈シャワートイレ 自動洗浄対応の場合〉

シャワートイレに腰掛けると、着座センサーが使用者を感知します。
6秒以上腰掛けた後、立ち去ると、6秒後に表示ランプ (赤) が点灯し、洗浄水が流れることをご確認ください。フルオート便器洗浄すると、その後30秒間はフルオート便器洗浄できませんので、ご注意ください。

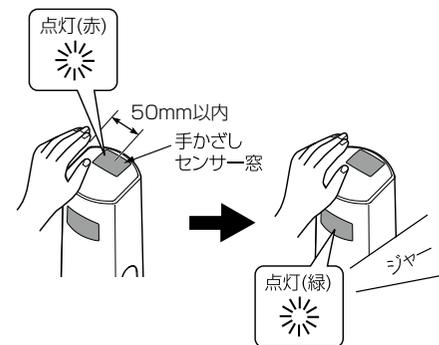


左右または前後方向に2台以上並べて設置した場合、隣の洗浄信号 (カスタムコード) を受けて誤作動する恐れがあります。
このような場合、自動フラッシュバルブおよびシャワートイレの洗浄信号 (リモコンカスタムコード) を変更してください。
変更方法は「◆切替スイッチの設定」およびシャワートイレの施工説明書を参照してください。



2. 手かざし洗浄の確認

手かざしセンサー窓から50mm以内に2秒以上手をかざすと、洗浄水が流れることをご確認ください。ただし、1度洗浄しますと、その後10秒間 (洗浄表示ランプ (緑) が点灯している間) は再洗浄できませんのでご注意ください。



3. 操作説明シールの貼り付け

使用者に操作方法がわかるように、見やすい位置にお貼りください。